

都市再生整備計画(第3回変更)

ゆだおんせんしゅうへんちく
湯田温泉周辺地区

やまぐち やまぐちし
山口県 山口市

令和元年7月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	山口県	市町村名	山口市	地区名	湯田温泉周辺地区	面積	85 ha
計画期間	平成 22 年度 ~ 平成 31 年度	交付期間	平成 27 年度 ~ 平成 31 年度				

目標
<p>大目標 訪れる人、住む人にやさしく心地よい市街地の再生</p> <p>目標① 温泉風情を高める路地の再生及び魅力を伝える情報発信により、訪れる人、住む人の回遊性を高めます</p> <p>目標② 道路、広場の整備を行い、安全で快適な環境を提供します</p>

目標設定の根拠
<p>まちづくりの経緯及び現況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・湯田温泉のはじまりは室町時代にまでさかのぼり、権現山の麓にあるお寺の池に小さな白狐が傷ついた足を每晚つけにきたのを和尚さんが不思議に思い、池の水をすくったところ温泉だったという言い伝えがあり、難病がなおる白狐の湯として人々に親しまれ発展してきました。 ・現在、湯田温泉は、山口県下最大の宿泊地であり、山口県の玄関口である新山口市駅や山口宇部空港から近く、県内外からの観光やビジネスをするための宿泊先として多くの方に利用されています。 ・しかし、湯田温泉を訪れる観光客数は平成3年の104万人をピークに減少が見られ、近年は80万人前後で推移しており、宿泊客数も平成3年の91万人をピークに近年は50万人弱で推移しています。近年の景気の低迷や団体旅行から個人旅行への旅行手段の変化、旅行者のニーズの多様化により厳しい状況が続いています。 ・湯田温泉地区は、都市型の温泉地であることから、宿泊地であるとともに市内でも有数の商業地であり、住宅地でもあります。湯田温泉地区に人が集いやすくなるような温泉情緒が感じられる空間やシンボル施設が足りないことから、温泉地としての魅力が伝わりにくい状況です。また、歩行者動線となる道路が、散策しやすくなるような統一された色彩となっていないために、温泉街を一体として感じられにくく、観光地としての魅力を伝えるための情報発信の場や案内機能が不足していることから、観光客がエリア内を回遊し、長く滞在する雰囲気ではない状況です。街なかの温泉地にふさわしい雰囲気づくりのため、温泉街そのものを観光資源と捉え、それを楽しめる仕組みづくりとして、温泉情緒が感じられる空間整備、観光客の散策を促す魅力ある路地の再生と動線の確保、案内機能の強化といった一体的な修景の整備が必要となっています。また、周辺市街地では、幹線道路が整備されていないために、生活道路が通り抜け道路として利用されるなど、狭隘道路内における区域内生活者の安全性、緊急車両の通行に支障をきたしていることが問題となっており、安全で快適な道路整備が求められています。 ・これらの問題を解決するために、平成16年に地元の関係者である旅館組合や自治会、商工会などで組織する「湯田温泉まちづくり協議会」が設立され、湯田温泉のまちづくりに取り組むとともに、今後の湯田温泉のあり方等について協議を重ねており、その中で検討課題を反映し、都市再生整備計画を作成しました。 ・全体を2つのエリア「湯田温泉エリア」と「周辺市街地エリア」に設定しました。 まず、湯田温泉エリアでは、温泉街としての魅力、観光地としての魅力を肌で感じることができるよう、公園の高質空間整備や広場の整備を、さらに関連事業として、シンボル施設となる湯田温泉観光回遊拠点施設の整備を計画し、癒しの空間づくりを行うこととしました。また観光客の方に、より長く湯田に滞在し、温泉街を満喫して頂くために、湯田温泉の中心街の動線をつなぐ道路の美装化や案内機能を充実強化するための観光案内板の整備を、さらに湯田温泉の玄関口となる湯田温泉駅前が、おもてなしの場所としてふさわしい雰囲気となるように、ゆったり和んでSL山口号を見ることが出来る足湯、黒を基調としたデザインの駐輪場・トイレの整備を計画しました。 次に、周辺市街地エリアでは、狭隘道路の解消のため、また、安全で快適な生活環境を確保するために、関連事業である幹線道路の東山通り下矢原線に接続する生活道路の整備と排水路の整備を計画しました。また、歩行者等が休憩できる場や地域住民がコミュニケーションを図る場がないことから、広場の整備を計画しました。 この内、平成22年度から平成26年度までの第1期計画の整備では、湯田温泉エリアにおいて、駐輪場・トイレ・足湯を、また、湯田温泉街の道路の美装化の一部・観光案内板の一部・公園の高質化を、周辺市街地エリアにおいて、生活道路の一部・排水路整備を実施しました。 第1期計画の整備により、既に整備が完了した湯田温泉駅前では、道路に放置される自転車が減り、指標に掲げている目標も達成できました。また、乗客の待ち時間を利用して足湯を利用する方と地元の方とのコミュニケーションが図られるなど、整備前とは雰囲気が変わってきており、地元の関係者が維持管理を担うなど、住民の意識に変化が表れてきたところです。 しかし、湯田温泉エリアでは、全体計画の整備内容が完了していないこともあり、まだまだ観光客に対し温泉地としての魅力が伝わっておらず、観光客がエリア内を回遊し、長く滞在する雰囲気ではない状況です。そこで、全体としての効果を発現していくために、第2期計画となる本計画においては、温泉地あるいは観光地としての魅力を伝えるための情報発信や回遊性を高めるための動線をつなぐ道路整備、景観整備が求められています。また、周辺市街地エリアにおいても、関連事業を含め未整備の道路が残されていることもあり、安全で快適な道路環境が提供できていません。その環境を整えることにより、安心して散歩等を楽しむために道路を利用しようという意識が芽生えることが期待されます。
課題
<ul style="list-style-type: none"> ・湯田温泉エリアは、温泉地、商業地、住宅地が混在しており温泉情緒が感じられにくいことから、観光客に対し温泉地としての魅力が伝わっておらず、観光客がエリア内を回遊し、長く滞在する雰囲気ではない状況です。第1期計画の整備により、一定の効果はあったものの、引き続き全体の整備として、温泉地としての魅力を伝える、そこへ誘導するための情報発信や、回遊性を高めるための動線をつなぐ道路整備、景観整備を実施することにより、さらに効果を発現させる必要があります。 ・周辺市街地エリアでは、幹線道路が整備されていないために、生活道路が通り抜け道路として利用されるなど、区域内生活者の安全性等が問題となっており、住む人が安心して快適な道路整備が求められています。また、当該地区には高齢者も多く、歩行者等が途中で休憩できる場として、さらにはコミュニケーションを図る場としての憩いの場の整備が求められています。
将来ビジョン(中長期)
<p>山口市総合計画において、「ひと、まち、歴史と自然が輝く 交流と創造のまち 山口」を目指しており、そのなかで「交流と創造のまち」の実現に向けてより効果的にまちづくりを進めるために重点的かつ先導的に取り組む事業として位置づけており、県中央核都市の観光交流の拠点として湯田温泉の魅力創出を目指します。</p>

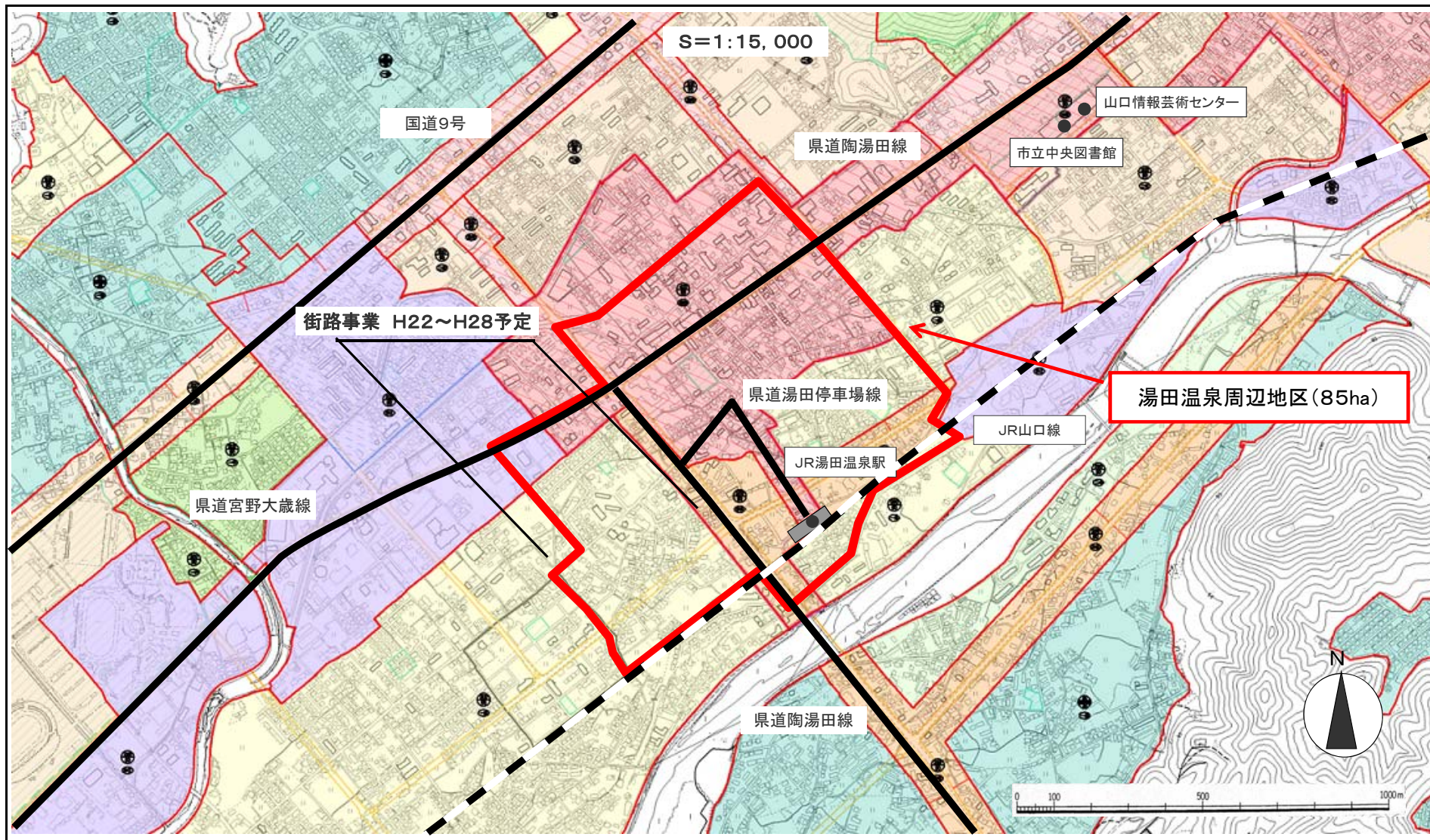
目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
					基準年度		目標年度
足湯の利用者数	人/日	大規模なイベント日を除く、休日(10:00~22:00)における湯の香通りの足湯の利用者数	道路の美装化や広場整備による憩いの場が設けられることにより、湯田温泉街を心地よく回遊して湯田温泉の雰囲気を味わってもらい、長く滞在する人の増加を目指す。滞在スポットとして、湯の香通りにある足湯における利用者数を指標とする。	111	平成26年度	150	平成31年度
道路の利用者数	人/日	平日(7:00~19:00)と休日(7:00~19:00)における周辺市街地エリアの道路(3地点)の利用者数	周辺市街地の若宮地区において、道路及び憩いの場の整備を行うことにより、安心して生活できる環境、歩行者等が休憩しコミュニケーションを図る場所が提供されることにより、歩行者等の増加を目指す。若宮地区の道路の利用者数を指標とする。	731	平成26年度	840	平成31年度

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<ul style="list-style-type: none"> ・整備方針1（風情ある修景整備及び魅力の創出） ・観光客がそぞろ歩きをしたくなるような湯田温泉らしい路地整備を第1期整備に引き続き行うことにより、動線をつなげます。また、心地よさを感じることができるよう広場も一体で整備することにより、関連事業で整備している湯田温泉観光回遊拠点施設との相乗効果により、湯田温泉全体で観光客をおもてなしする空間を演出します。さらに、観光案内板の整備と湯田温泉観光回遊拠点施設内における、歴史・観光PV上映により、湯田温泉の魅力の情報発信を行います。 	高質空間形成施設(基幹事業／美装化)、地域生活基盤施設(基幹事業/広場、情報板)、地域創造支援事業(提案事業／手湯・足湯整備、情報発信)、関連事業(湯田温泉観光回遊拠点施設)
<ul style="list-style-type: none"> ・整備方針2(道路、憩いの場の整備) ・周辺市街地エリアにおける、安心して生活できる住環境を整えるために、第1期整備に引き続き道路を整備することにより、その効果を発現していきます。また、歩行者等が途中で休憩し、コミュニケーションを図るための四阿やベンチ等を整備し、くつろげる空間を演出します。 	道路事業(基幹事業／若宮町今井町線)、地域生活基盤施設(基幹事業/広場)、関連事業(東山通り下矢原線)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 	
その他	
<ul style="list-style-type: none"> ○事業終了後の継続的なまちづくり活動 当地区の旅館組合や温泉配給組合、商工会関係者や自治会などで組織されている「湯田温泉まちづくり協議会」と市において計画策定段階から協働して取り組んでおり、事業終了後も継続的に協議し、まちづくりに取り組む予定である。	

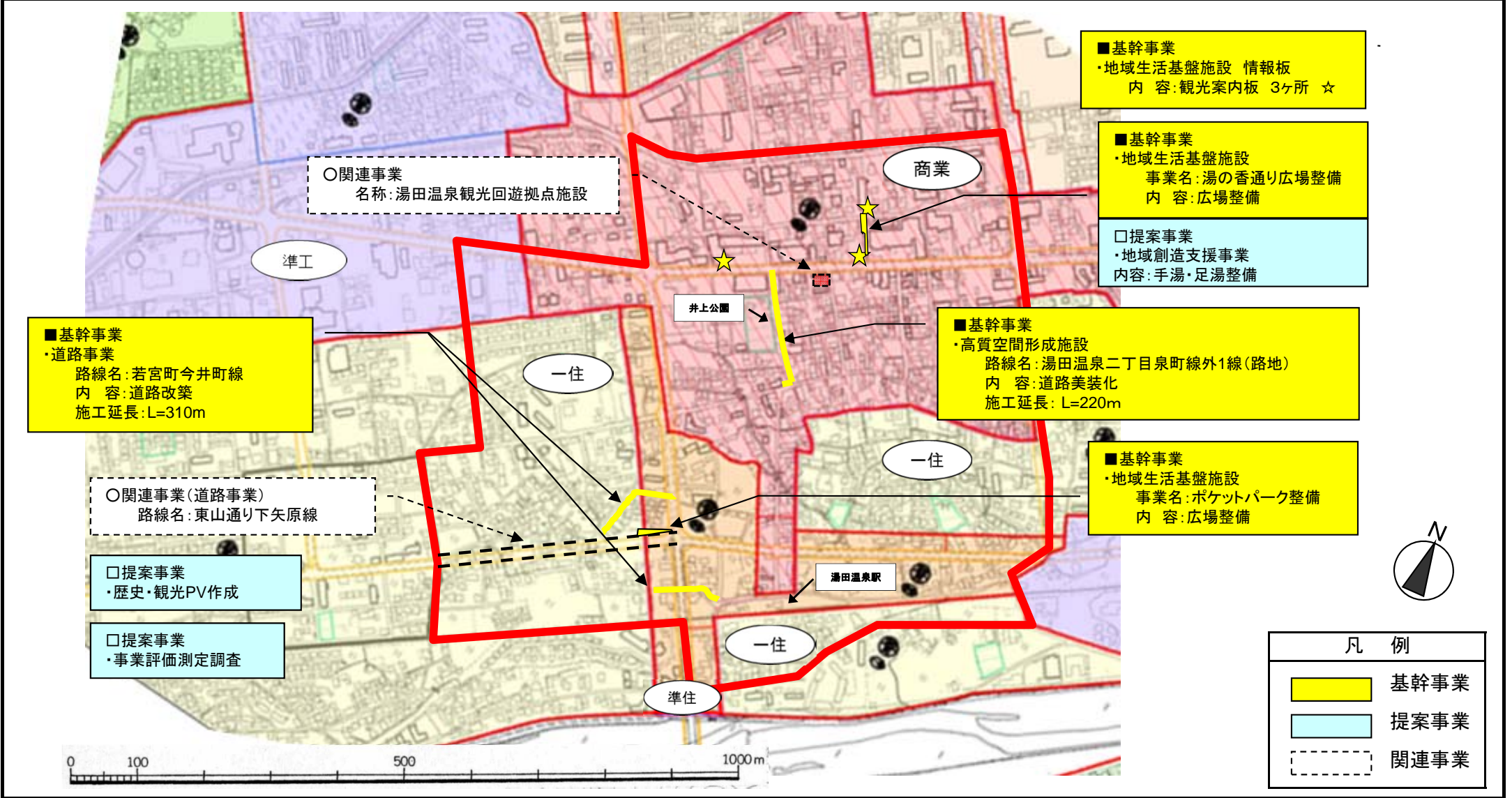
都市再生整備計画の区域

湯田温泉周辺地区(山口県山口市)	面積	85 ha	区域	湯田温泉一丁目～四丁目、前町、下市町、今井町、若宮町の全部と富田原町、周布町、葵一丁目の一部
------------------	----	-------	----	--



湯田温泉周辺地区(山口県山口市) 整備方針概要図

目標	大目標 訪れる人、住む人にやさしく心地よい市街地の再生	代表的な指標	足湯の利用者数 (人/日)	111 (H26年度)	→	150 (H31年度)
	目標① 温泉風情を高める路地の再生及び魅力を伝える情報発信により、訪れる人、住む人の回遊性を高めます		道路の利用者数 (人/日)	731 (H26年度)	→	840 (H31年度)
	目標② 道路、広場の整備を行い、安全で快適な環境を提供します					



○関連事業
名称:湯田温泉観光回遊拠点施設

■基幹事業
・地域生活基盤施設 情報板
内容:観光案内板 3ヶ所 ☆

■基幹事業
・地域生活基盤施設
事業名:湯の香通り広場整備
内容:広場整備

□提案事業
・地域創造支援事業
内容:手湯・足湯整備

■基幹事業
・道路事業
路線名:若宮町今井町線
内容:道路改築
施工延長:L=310m

■基幹事業
・高質空間形成施設
路線名:湯田温泉二丁目泉町線外1線(路地)
内容:道路美化
施工延長:L=220m

■基幹事業
・地域生活基盤施設
事業名:ポケットパーク整備
内容:広場整備

○関連事業(道路事業)
路線名:東山通り下矢原線

□提案事業
・歴史・観光PV作成

□提案事業
・事業評価測定調査

凡 例	
	基幹事業
	提案事業
	関連事業